



福祉と住環境を考える

ふくてっく

559-0034 大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC・ITM 棟 11F エグゼシ
TEL 06-6614-6800 FAX 06-6458-5090
npo-fukutech@mail.goo.ne.jp <http://blog.kansai.com/fukutech>

2008 年 4 月

第 74 号

特定非営利活動法人
ふくてっく

ふくてっく体制が変わりました

昨年の総会で、役員が以下の様になりました。初めて理事になる方、再任、留任のベテランの方々、良いバランスではないかと思っています。何より理事長、事務局長の交代劇はふくてっくの長い歴史で初の事です。

どの様になるかと心配と不安の中、半年以上が経ちましたが、これからも変わらずよろしくお願い申し上げます。

理事長	:	小川 忠雄			
事務局長 理事	:	吉原 直美			
理事	:	池淵 皇子	磯田 吉郎	佐久川 尚士	立溝 和行
		中北 清	西川 朋生	畑 俊治	山本 尚子
監事	:	秋岡 安	稲住 泰広		
顧問	:	杉浦 史郎			
事務局員	:	和泉 秀子			

現代は情報過多？

現代は情報過多と言われるが、本当だろうか？そもそも「情報」という言葉は、古来の日本語にはなく、森鷗外が「information」を訳して、始めて造語したものだそうだ。「情け」に「報いる」とは、けだし見事な和訳である。それは、発信する側と受信する側の心が相互に通い、交信する毎に、いよいよ深まるといった、有機的な物である。

ところが、昨今過多であると言われているものはそうではない。それは「information」ではなく、単なる「data」にしかすぎない。和訳するなら「資料」である。氾濫しているのは、無機質な資料ばかり・・・

そのように考えるとき、現代は情報過多ではなく、むしろ情報希薄社会と言えるのではないだろうか。その辺の、官立情報センターが資料センターになっていないか？改めて問いたい。 (中北 清)

東大阪市住宅改造費助成事業適正検証事業部 活動紹介

平成 18 年 4 月から東大阪市からの依頼で、活動員 12 名で毎月第 2・4 木曜日に助成金を使った住宅改造が適正に行われているか、検証する活動を行っています。

朝 9 時に市役所玄関ホールに集まり、午前中は会議室を借りて書類のチェックを行い、昼食後現場へ夫々が向かい、夕方戻って来て認定書や申し送り書など記入するまでが活動です。だいたい夕方 6 時過ぎまで市役所にいます。

結構息抜く暇も無く、私なんか本業より働いている時間が多い気がしています。

この制度は高齢者や重度障害者が住み慣れた地域で自立し、安心して生活が出来るように住宅を改造して、その必要な経費の一部を市が助成するという趣旨で出来ました。

我々活動員がお手伝いすることで、より良い住環境の改善への促進・行政手続事務の簡素化・迅速化など、利用者や業者への負担の軽減に役立てることが目的です。

更に、これまで利用に敬遠してきた地元の小工務店や一人大工さん等でも、福祉マインドと技術力があれば取り組むことができる支援体制を育てることになっています。



先ず朝は、会議室で書類の整理・申請書のチェックから始まります。

結構これが手間なのですよ~! 「う~む考えさせられる内容が多いなあ~」

お昼は 11 階の綺麗な食堂で昼食。私のお気に入りにはカレーライス 380 円なり!

午後からは各自現場へ散らばります。真夏や真冬の自転車は辛~い時もありますが、皆利用者の住環境改善の為に頑張っています。

(磯田 吉郎)

福祉サービス第三者評価 活動報告

3月7日、ヒューマインドにおいて福祉サービス第三者評価普及啓発フォーラムが開催されました。他府県からの参加も含め、参加者数160名。当会からは6名が参加しました。

大阪府立大学部長の黒田教授（推進支援会議・大阪の運営委員長）の基調講演と、中北から評価機関連絡会の活動報告・評価機関の現況説明の後、パネルディスカッションでは、第三者評価を受審した事業所から、評価を受けて気づいたこと、変わったことなどが報告され、改めて第三者評価の有意義性が確認されました。



特養「四条囃荘」介護職員の発表風景

会場の後方ではいくつかの評価機関がパネル展示と資料の配布とともに参加者との懇談をして、第三者評価への理解の浸透に努めることができました。

当会も今年は1ブースを占めて活動しましたが、杉浦さんの知人が奈良県から見えていたり、思いが



コーヒーコーナーと後方の展示ブース

けない来客もあり、また某大学の福祉系学科講師から、研究室の活動に協力をお願いすることがあるかもしれないという相談などの動きがありました。サービス事業者も資料収集されてゆきましたが、今のところ評価受審に向けての反応は届いていません。（予想通り！？）

本年は、障害者分野の評価基準を検討するための内部研修を中心に活動してゆく方針です。

まあ、ぼちぼち行こか（大阪ことば風？）・・・

という所です。 （中北 清）

福祉用具部 活動内容

活動項目

作成 古場 道夫

- 1、福祉用具を含む介護・福祉知識を習得、ステップアップをする
- 2、福祉用具部会会合は毎月、第3土曜日に開催する。
- 3、住まい・まちづくり・ネットに部会活動を公開する。
- 4、福祉用具のちょっとした改善を、ものづくり活動を通じて製作体験する。

活動内容

- 1、福祉用具を含む介護（福祉）関連知識を習得・ステップアップするため、月に1度 勉強会、検討会、見学会、交流会（理学・作業療法士・介護福祉士他）を計画する。
- 2、高齢者介護施設を訪問して、施設のりハビリ担当職員（理学・作業療法士）から福祉用具の不満・不便さを聞き取り、福祉用具の改善を発想し、ものづくり活動を行う。
- 3、福祉・介護等多方面から人材を募る。

活動部員

杉浦史郎（ふくてっく 顧問）

古場道夫

活動状況

開催日	活動会名称	活動内容	開催会場
12 / 15	勉強会	「福祉用具とは」 講師...杉浦顧問	大阪市立社会福祉センター
1 / 19	検討会	「今年度福祉用具部会活動計画案の検討」 センター...古場	大阪市立社会福祉センター
2 / 16	勉強会	「福祉用具の適用・運用における評価法」 センター...古場	大阪市立社会福祉センター

福祉用具部活動計画（今年前半までの計画、8月は休み）

開催日	活動会名称	活動内容	開催会場
3 / 15	勉強会	福祉用具貸与・購入品でミニ改修、自立・介護負担を軽減する	大阪市立社会福祉センター
4 / 12	検討会	福祉用具・すのこを学習・製作体験する（協力 木工部）	ふくてっく工房
5 / 17	勉強会	自助具を学習・製作体験する（協力ボランティア G わかば）	大阪市立社会福祉センター
6 / 21	施設見学会	介護施設を訪問して、作業療法士から福祉用具の不満・不便さを聞き取り調査する	大阪市内の介護保険施設
7 / 19	検討会	福祉用具不満・不便さ聞き取り内容を、福祉用具を見ながら改善点を検討する	ATC エイジレスセンター ふくてっく事務局内

人が集う「ふくてっく工房」

2007 年後半より本格的に活動をスタートした「ふくてっく工房」各工具の棚卸と整理、木材置場の整理等行いました。なかなか美しいという所まではいきませんが、皆さんが集まって会議をするにも、木作業をするにも大変素晴らしい教室ができたと喜んでおります。

また工房玄関口お隣には NPO 法人「お達者クラブ」が主催し、地域の人々を対象にした軽食喫茶がほとんど同時にオープンし、ボランティアの学生さん達が応援しています、皆さんも是非一度足を運んでください。

1. ふくてっく木工部「ふくてっく工房」活動日

基本活動日：毎月第 2 土曜日と第 4 土曜日の 2 回 10:00 ~ 15:00 頃
但し重要スケジュール重複日は次週土曜日に順延

2. ふくてっく工房のご紹介

ある日の木工部メンバー



工具整理棚



ある日の作業風景



軽喫茶「花しょうぶ」

検討会風景

ふくてっく工房

住所

大阪市旭区太子橋 1 丁目 23 - 15

最寄り駅

地下鉄谷町線/今里筋線

太子橋今市駅 6 番出口西へ徒歩 5 分

(西川 朋生)

